



地域人材ネット

日本の田舎町再生のお手本づくり

相馬 康穫 (そうまやすのり)

プロジェクトおおわに事業協同組合 副理事長

○ 登録者情報

所在地

青森県大鰐町

略歴

1999年度 全国商工会青年部連合会 副会長
2011年度 あおりコミュニティビジネス表彰 青森県知事賞
2011年度 オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞
2012年度 地域づくり総務大臣表彰 団体表彰
2013年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞

○ 「日本の田舎町再生のお手本づくり」

取組の内容

2007年に「OH！鰐!!元気隊」という地域おこしグループを立ち上げ、2009年には、その発起人有志で「プロジェクトおおわに事業協同組合」というまちづくり会社を設立しました。同年6月より、町内の複合交流施設「鰐come」の指定管理者となり、本格的に地域再生事業をスタートしました。赤字続きだった同施設を、単年度で黒字化に成功しました。従業員も40名から48名に増え、3年で売上も倍増となり、地域の元気を少しずつ取り戻すことが出来ました。その後、東日本大震災の影響により二年間苦しんだが、地元農家さんや商工会員の業者様との連携により、再々生し、「コミュニティビジネスとふるさと教育」の手法をミックスさせ、「日本の田舎町再生のお手本」となりつつあります。

実績

2009年6月1日より、わが町の交流施設「大鰐町地域交流センター鰐come」を、指定管理料ゼロ円で受託しました。「初年度での黒字化」と「三年以内に売上200%」の二つの目標を掲げ、達成しました。その後、東日本大震災の影響により、二年間赤字に苦しんだが、2014年度、3年ぶりに業績挽回し、再度黒字となり、2015年度は開業以来最高の売上で推移しています。2015年12月には、開業11年目で入館者数200万人も達成しました。

工夫した点や苦労した点

地元農家の皆様と「鰐come産直の会」を2009年に立ち上げたが、当初は40軒ほどしか賛同してくれず苦戦しました。しかし、高原野菜やりんごなどの県外出荷により、各会員農家の副収入アップに繋がり、今では年間約3000万円の新たなお金(売上)が地域活性の源となっています。

ひとことPR

地元農家の皆さんや商工会員の皆さん、そして近隣市町村企業とのコラボレーションにより、「第2の夕張」と言われ続けた、わが町が少しずつ元気を取り戻し、次世代の子供たちへも希望と勇気を与えられるようになりつつあります。今後も「ふるさと教育とコミュニティビジネス」の手法を連動させ「日本の田舎町再生のお手本づくり」を目指します。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(コミュニティビジネス)
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

鰐come(ワニカム)	http://www.wanicome.com
-------------	---

連絡先

メールアドレス	soumava040[at]gmail.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[at]マークを『@』に変えてください。

戻る